

大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.26)

◎ PCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会の開催について

6月10日、PCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会（JESCO主催、主査 酒井伸一 京都大学環境科学センター長）を、ホテルグランヴィア大阪で開催しました。今回は、「大阪PCB廃棄物処理施設の操業状況」、「蒸留設備にかかる腐食対策」及び「運転廃棄物対策」等についてご報告しました。各委員の方々からご意見をいただき、それを踏まえて今後とも安全・確実に処理事業を進めてまいります。



事業部会の様子

◎ PCB廃棄物の受入状況について

近畿2府4県の処理状況（廃棄物個体完了ベース）では、トランス類1,516台、コンデンサ類25,843台、PCB油類378本を処理いたしました。そのうち大阪市内分は、トランス類が866台（約67.7%）、コンデンサ類が10,403台（約86.2%）、PCB油類が202本（約61.4%）となります。（対登録台数比）

◎ 消防訓練の実施について

5月17日、此花消防署のご協力のもと、消防訓練を行いました。東棟エリアでの出火を想定し、通報・消火・避難訓練を実施しました。訓練終了後、此花消防署担当からは、今回の訓練の総評と今後の訓練の取り組みについて等のお話をいただきました。今回の訓練で得た教訓を生かし、今後も定期的にも実施してまいります。



訓練の様子



此花消防署による講評の様子

◎ 安全教育の実施について

5月26日、「熱中症予防について」をテーマに安全教育を行いました。熱中症については、毎年教育しており、作業従事者一同、十分に認識しておりますが、これから高温・多湿な気候を迎えるため、再教育として行いました。



安全教育の様子

◎ 施設見学の状況について

施設見学者は、平成23年6月末現在で、1,078団体(7,985人)となっています。

6月28日には、廃棄物総合管理研修の一環として、海外からの見学者も来られ、熱心に見学されました。

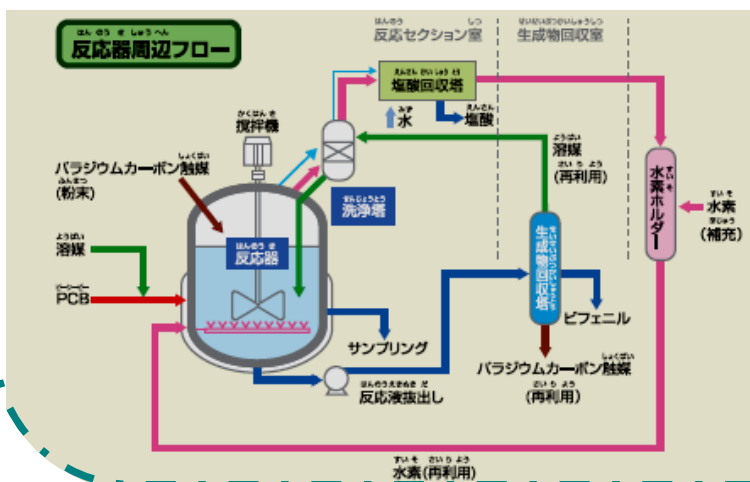
施設見学の様子



PCB廃棄物処理施設の紹介シリーズ ～⑦ 液処理 (東棟) 編～

西棟でトランスやコンデンサ等から抜油・分離されたPCB油は、移送容器に入れられ、専用のトラックで、液処理が行われている東棟へ運ばれます。触媒水素化脱塩素化法という化学的な処理法により、反応器の中でPCBをパラジウムカーボンという触媒を使用し、水素を加え、260℃ 常圧で、塩酸とビフェニルに分解します。

液処理は、1日最大2トンのPCBを処理する能力があります。



☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

弊社のホームページを参照または総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・1階情報公開ルーム(月～金曜日の午前10時から午後4時まで)
- ・予約見学・1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日(午前10時から・午後2時から)

【問い合わせ】 日本環境安全事業(株)大阪事業所

TEL: 06-6468-0575

ホームページ: <http://www.jesconet.co.jp>



洲男(しまお)



舞子(まいこ)

☆編集後記☆

操業開始以来、今年5年目を迎えます。なお、8月から9月にかけて定期点検を実施します。節電対策も念頭に置きながら、安全・確実な処理を目指して、より一層の安定操業に努めてまいりますので、皆様方のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



☆べん蔵☆



【発行】

日本環境安全事業株式会社

大阪事業所総務課/安全対策課/運転管理課

// 営業課(弁天事務所)

06-6468-0575

06-6575-5575